

サステナビリティ

大塚商会は、ミッションステートメントに掲げる使命、目標、行動指針の実践で、「環境面」と「社会面」の課題の解決に真摯に取り組み、かつ最適なガバナンス体制を構築することで、持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上を目指していきます。

2022年1～6月のトピックスを紹介します。

■サステナビリティ関連方針を策定

2022年4月にサステナビリティ基本方針を策定しました。また、同方針のもと人権方針およびサステナブル調達方針も策定し、あわせてサステナビリティに関する9項目の重要課題（マテリアリティ）を特定しました。

近年、SDGsへの関心が高まり、企業においてはESG経営の重要性が強まっています。当社は、「自然や社会とやさしく共存共栄する先進的な企業グループとなる」ことをミッションステートメントの目標に掲げ、環境保全活動やCSR活動等を行ってきました。これまでの活動をさらに発展させていくために、2021年11月にサステナビリティ委員会を設置しています。

今後もこれらサステナビリティを巡る課題への取り組みは重要な経営課題であるとの認識のもと、より高いレベルでのサステナビリティ経営の実践を目指します。

基本方針とマテリアリティは、当社ホームページに掲載しています。

〈基本方針〉 <https://www.otsuka-shokai.co.jp/corporate/csr/plan/>

〈マテリアリティ〉 <https://www.otsuka-shokai.co.jp/corporate/csr/materiality/>

■「統合報告書2022」を発行

大塚商会グループの中長期的な事業戦略と、事業を通じたESG課題解決の好循環を、ステークホルダーの皆様にわかりやすくお伝えすることを目的に、従来のアニュアルレポートを刷新し、統合報告書として発行しました。

「統合報告書2022」は、当社ホームページに掲載しています。

<https://www.otsuka-shokai.co.jp/corporate/ir/media/integj2022v.pdf>



■心のバリアフリー推進活動「東京都 心のバリアフリー好事例企業」認定

2020年1月に公益財団法人日本補助犬協会と協働で補助犬のケイ君を特別社員「心のバリアフリー大使」に任命し、心のバリアフリー推進活動を開始しました。ケイ君の活動は、大変ユニークで親しみがあると評価されており、内閣官房「ユニバーサルデザイン2020評価会議(第4回)」でもユニバーサルデザインの好事例として認定されています。

また、ケイ君との触れ合いやデモンストレーション、デジタルサイネージを使った情報発信などの活動が、先進性、独自性、波及効果の観点から特に優れた取り組みであるとして、「令和3年度 東京都 心のバリアフリー好事例企業」にも認定されました。

心のバリアフリーとは、さまざまな心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。心のバリアフリーが浸透すれば誰もが生きやすい社会に繋がります。ケイ君を見て、触れて、考えるきっかけになってほしいと考え、心のバリアフリーを推進しています。



心のバリアフリー大使のケイ君

■中学生の企業訪問を受け入れ

6月22日、岐阜県羽島市立中央中学校3年生の企業訪問を受け入れました。中央中学校では、修学旅行をキャリア教育の場として活用しています。企業を訪問することで、生徒たちの視野を広げることを目的としており、当社に協力依頼がありました。

大塚商会の歴史、取り扱っているソリューションを紹介した後は、生徒が社員にインタビューする時間を設けました。



ソリューションを紹介する様子